

# 尼崎市のバス交通に関する市民アンケート

## 1. はじめに

尼崎市営バスは昭和 23 年の創業以来、市民の身近な公共交通機関として、市民の日常生活を支える重要な役割を担ってきました。

しかしながら、人口減少や自家用自動車の普及、また産業構造の転換など様々な社会経済環境の影響を受け、昭和 42 年をピークにバス利用者数は大きく減少するなど、厳しい経営状況となっております。

このアンケートは、今後の尼崎市におけるバス交通サービスを持続可能なものとしていくため、担い手の検討にあたり、「尼崎市のバス交通に求めるもの」や「バス事業への市税負担のあり方」などについて、市民の皆さんのご意見、お考えをおたずねするものです。

回答結果については、公営企業審議会の審議に反映するなど、今後の市の交通政策にかかる大切な情報として活用させていただきたいと考えております。その他の目的で使用することはありません。

調査の主旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

## 2. このアンケートについて

調査対象者	尼崎市にお住まいの 15 歳以上の方を無作為に選ばせていただいています。 <u>宛名のご本人がお答えください。</u> ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方がお答えください。
回答方法	選択肢の中から該当する番号に直接丸印をつけてください。 複数の番号に丸印をつけていただく設問もあります。 自由回答欄には、該当する内容を直接ご記入ください。
回答後	記入が終わりましたら、3 つ折りにして同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、 <u>平成 24 年 月 日</u> までにポストに投函してください。

### 3 . 設問

まず、あなたご自身のことについて、お聞かせください。(該当する番号に丸印をつけてください。)

性別	1 男性                      2 女性
年齢	1 10 歳代    2 20 歳代    3 30 歳代 4 40 歳代    5 50 歳代    6 60 歳代 7 70 歳代    8 80 歳以上
お住まい	〒 _____ - _____ 尼崎市 _____ 町 _____ 丁目
職業	1 会社員・公務員    2 パート・アルバイト 3 自営業                      4 学生 5 主夫・主婦                      6 無職 7 その他 (                      )
運転免許について	1 持っている                      2 持っていたが返納した 3 持っていない
クルマの所有について	1 自分のクルマがある 2 家族所有のクルマがある 3 家にクルマがない
市バス特別乗車証について	1 持っている <b>次の中から該当するものに丸印をつけてください</b> ア 高齢者の定期方式の乗車証 (第 1 種特別乗車証) イ 高齢者の乗車払い方式の乗車証 (第 2 種特別乗車証) ウ 障害者等乗車証 (第 3 種・第 4 種特別乗車証) 2 持っていない
身体障害者手帳について	1 持っていない 2 持っている ( _____ 級・種別 _____ )
介護認定について	1 受けていない 2 受けている ( _____ 級・種別    ア 要介護・イ 要支援 )

あなたの日常生活における路線バスの利用状況について、お聞かせください。

Q1 平日に市内を運行する路線バス(高速バスは除く)をどのくらい利用していますか(丸印は1つ)

- |   |         |   |           |   |        |
|---|---------|---|-----------|---|--------|
| 1 | ほとんど毎日  | 2 | 週に2~3回    | 3 | 月に2~3回 |
| 4 | 半年に2~3回 | 5 | ほとんど利用しない |   |        |

Q2 土日祝日に市内を運行する路線バス(高速バスを除く)をどのくらい利用していますか(丸印は1つ)

- |   |        |   |        |   |           |
|---|--------|---|--------|---|-----------|
| 1 | ほとんど毎週 | 2 | 月に1~2回 | 3 | ほとんど利用しない |
|---|--------|---|--------|---|-----------|

Q3 バスを利用する主な目的は何ですか(丸印は1つ)

- |   |     |   |         |   |    |
|---|-----|---|---------|---|----|
| 1 | 通勤  | 2 | 通学      | 3 | 通院 |
| 4 | 買い物 | 5 | レジャー・娯楽 | 6 | 食事 |
| 7 | 業務  | 8 | その他( )  |   |    |

Q4 バスの運賃の支払い方法は何ですか?(丸印は1つ)

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 現金                           |
| 2 | 定期券                          |
| 3 | 回数券・回数カード、ICカードなど            |
| 4 | 高齢者特別乗車証(敬老パス)などの尼崎市発行の特別乗車証 |
| 5 | その他( )                       |

Q5 バスを利用する理由は何ですか（丸印は1つ）

- 1 バス以外に利用できる交通手段がない
- 2 できるだけクルマ（バイク、自転車なども含む）を運転したくない
- 3 バスが便利、利用しやすい
- 4 その他（ ）

→ 「3 バスが便利、利用しやすい」と回答された方におたずねします。

バスが便利、利用しやすいと思われる理由は何ですか（丸印は2つまで）

- 1 バス停が近い
- 2 運行路線が利用しやすい
- 3 目的地まで早く行ける
- 4 天候（雨降りなど）の影響
- 5 安心、安全に移動できる
- 6 運賃が安い
- 7 他の交通手段よりも楽
- 8 その他（ ）

次のQ6は、Q1、Q2のいずれかで、「ほとんど利用しない」とお答えの方のみご回答ください。

Q6 バスを利用しない理由をお聞かせください（丸印は1つ）

- 1 あまり外出する機会がない
- 2 他の交通手段を利用している
  - ア クルマ（自分で運転）
  - イ クルマ（送迎してもらう）
  - ウ バイク
  - エ 自転車
  - オ タクシー
  - カ その他（ ）
- 3 バスが不便、利用しにくい
- 4 その他（ ）

→ 「3 バスが不便、利用しにくい」と回答された方におたずねします。

バスが不便、利用しにくいと思われる理由は何ですか（丸印は2つまで）

- 1 バス停が遠い・わかりにくい
- 2 目的地まで時間がかかる
- 3 乗換えが多い・わかりにくい
- 4 行きたいところまで路線がない
- 5 時間どおりに運行していない
- 6 運賃が高い
- 7 利用したい時間帯に走っていない
- 8 その他（ ）

Q7 バス交通の必要性について、あなたのお考えをお聞かせください

(丸印は2つまで)

- 1 日常生活を営む上で必要不可欠な移動手段である
- 2 ないと外出機会が減る
- 3 なくても代わりの移動手段で対応できる
- 4 なくても全く困らない
- 5 今は困らないが将来的に必要なになると思う
- 6 家族や知人が利用するので必要だと思う
- 7 地域の社会基盤として必要である(まちづくりや地域活性化のため)
- 8 その他( )

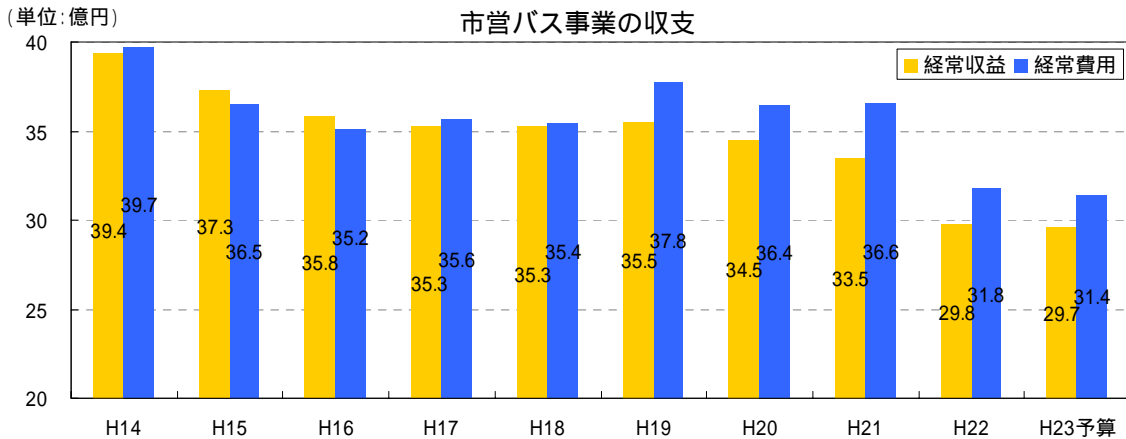
「3 なくても代わりの移動手段で対応できる」と回答された方におたずね  
します。バスが利用できない場合に、代わりに利用する交通手段は何ですか  
(丸印は1つ)

- 1 徒歩                      2 自転車                      3 バイク
- 4 クルマ(自分で運転)                      5 クルマ(送迎してもらう)
- 6 その他( )

Q8 今後のバス交通の役割として、期待すること、重視するものについて、  
あなたのお考えをお聞かせください(丸印は1つ)

- 1 市民の日常生活や経済活動などを支える移動手段
- 2 特に高齢者、障がい者など移動制約者の移動手段
- 3 まちの活力の維持、魅力向上など、まちづくりの手段
- 4 特にない
- 5 その他( )

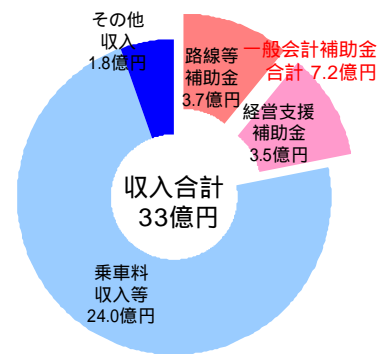
市内のバス交通の中核を担う尼崎市営バス（約75%をカバー）は、平成22年度決算では、29路線中22路線が赤字運行となっており、交通局の経営はたいへん厳しい状態が続いています。



平成23年度においては、市の一般会計から、赤字路線の運行を維持するための路線等補助金3億7千万円に加え、交通局の経営を支援する経営支援補助金3億5千万円、合計で7億2千万円を投入しています。

これは、全尼崎市民が1人あたり年間約1,600円を負担していることとなります。

交通局の平成23年度予算(収入)

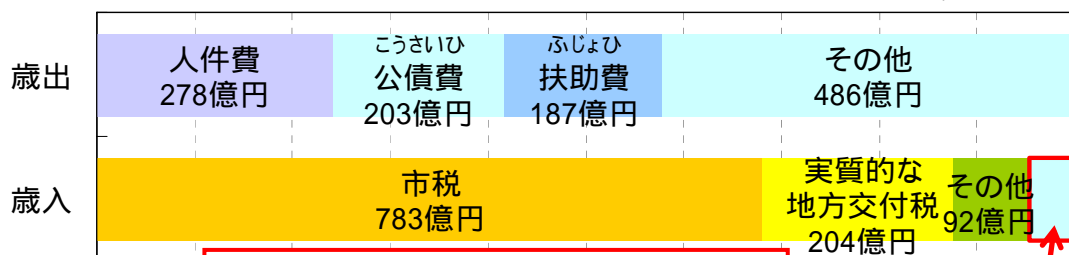


一方、市の財政も厳しい状況が続いています。

平成23年度予算における実質的な赤字は75億円にのぼっておりますが、その穴埋めを、貯金の取り崩しや借金でまかなうなど、大変厳しい状況にあります。

平成23年度 一般会計・一般財源の収支(当初予算)

(単位: 億円)



財源対策(実質的な赤字) 75億円

- ・行革推進債などの借金... 48億円
- ・財政調整基金などの貯金の取り崩し... 27億円)

市の厳しい財政状況などを踏まえ、このままでは、市営バス事業の継続が危ぶまれる状況となっております。

Q 9 市民の足を確保するため、市営バス事業に対して、料金以外にこうした多額の市税が投入されていることについて、あなたはご存知でしたか。

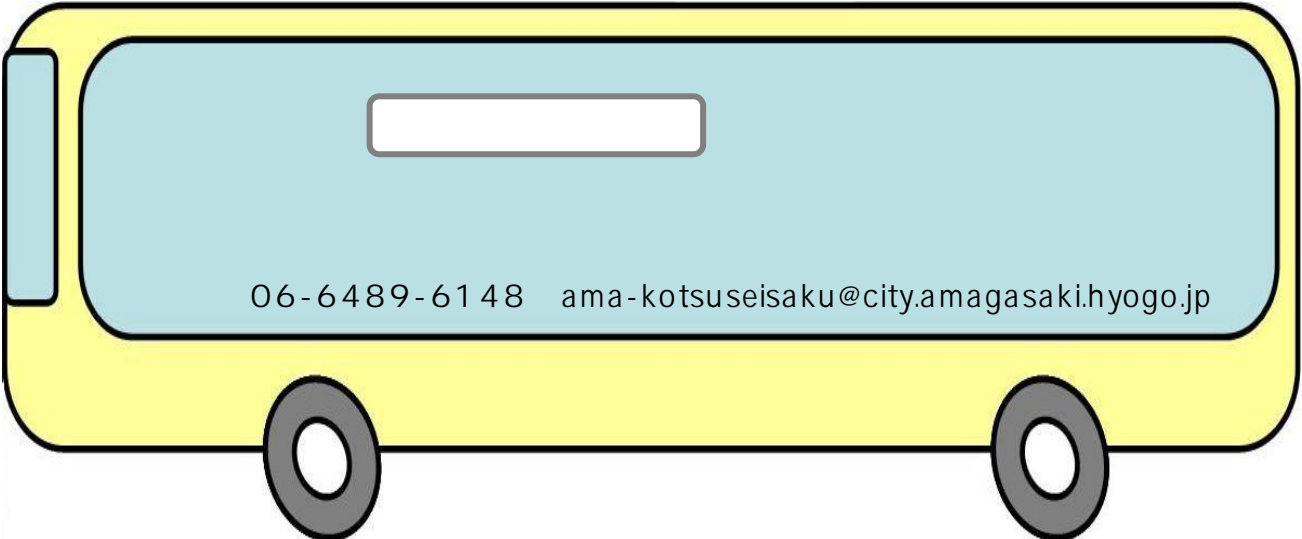
(丸印は1つ)

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1 | 知っていた                            |
| 2 | 詳しくは知らないが、市営バス事業の経営が厳しいことは認識している |
| 3 | まったく知らなかった                       |
| 4 | その他 ( )                          |

Q 10 市営バス事業に対する税金負担について、あなたのお考えをお聞かせください。(丸印は1つ)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | サービスをより充実させるため、もっと市税の負担が重くなってもかまわない                            |
| 2 | 市民の足を確保するためには、この程度の税負担はやむを得ない                                  |
| 3 | 市民の中には、バスをあまり利用しない人もおり、過度に税金を投入することは不公平であることから、税負担の軽減に努めるべきである |
| 4 | バス事業は運賃収入により運営するべきであり、市税に頼る経営は望ましくないことから、税はいっさい投入すべきではない       |
| 5 | その他 ( )  |





バス交通についての市の検討内容や、公営企業審議会については、  
尼崎市 交通政策 で検索！

【お問い合わせ先】

尼崎市役所 企画財政局 政策室 交通政策担当

06-6489-6148 [ama-kotsuseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-kotsuseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp)